

学校運営協議会実施報告書

岐阜県立中津商業高等学校

校 長 森 岡 孝 文

学校住所 中津川市駒場大岩 1646 電話 (0573)66-1358

- 1 会議名 学校運営協議会 (第1回)
- 2 開催日時 令和2年8月12日(水) 付け 書面開催
- 3 参加者 委 員 成瀬 博明 同窓会副会長、中津川商工会議所専務理事
(敬称略) 名城 仁志 PTA会長
青木 完治 地域住民代表 学識経験者
西村 友孝 中津川市中山道資料館館長
李 瑾 中京学院大学 准教授
安江めぐみ 中津川市役所定住推進課市民協働課推進対策官
市川 順子 中津川市役所定住推進課市民協働課主査
- 学 校 側 森岡 孝文 校長
安藤 範和 教頭
関谷 一紀 事務長
兼松 美穂 教務主任

4 会議の概要(協議事項)

テーマ 「令和2年度 学校運営の基本方針について」

- 教育課程について
 - (1) カリキュラム
 - (2) 年間行事計画
 - (3) 第3次岐阜県教育ビジョンに係る指定事業等
 - (4) 令和2年度地域連携による活力ある高校づくり推進事業 実施計画書
- 職員及び校内組織について
 - (1) 職員異動
 - (2) 職員数及び職員一覧
 - (3) 学校運営機構
- 教育の重点について
 - (1) 教育指導の重点
 - (2) 主要3分掌の重点目標
 - (3) 教育指導の重点及び学校運営計画(高等学校版マニフェスト)
- 学校安全について
 - (1) 学校安全計画
 - (2) 学校保健計画

5 会議のまとめ

新型コロナウイルス感染症対策として、第1回の学校運営協議会は書面開催とした。委員の方々に書面にて本校の運営方針等を説明し、全ての委員より承認を得ることができた。また、以下のように、本校の教育活動に対して様々な提言をいただくことができた。

提言1 「質実剛健」のスローガンの基、教育方針や地域連携の取組など、それぞれの目標設定により着実に行われている。今後、益々進む少子化、定員割れなどへの対応として、卒業後に即戦力となるためのプレゼン能力や解り易いマトリックスの作成能力など、近未来のIoTなども視野に入れると、就職率の向上につながるのではないかと推察している。

提言2 大学進学希望者が増える中、普通教科（特に外国語）などを強化し、進学もできる専門高校により特色を図ることができるのではないかと推察している。

提言3 定員が割れると全体の学力低下が懸念されます。中身が充実して飾り気がなく、心身ともに強くたくましい人づくりをお願いしたい。

提言4 新型コロナウイルスの感染拡大防止のために当初の年間計画の大幅な見直しを迫られ、年間授業時数等の確保に大変苦慮されておられるのではないかと推察している。

提言5 「高校生中山道観光案内」への取組については、現在、中山道資料館も対外的な事業（講座等）を自粛しており、来館者はもちろんのこと、中山道を歩く旅人も皆無に近い状況である。どの程度の連携協力が可能であるか予測できないが、できる限りの協力をしたいと考えている。

提言6 中山道観光案内の活動にYouTubeの発信を加えてはどうか。

提言7 昨年度から引き続いた事業などは一歩進んだ開発や研究など、楽しみにしている。しかし、コロナ禍で思うように進められないのではないかと考える。進捗状況が気になるところであるが、前に進むことを願っている。

提言8 時代はまさしく「ふるさと教育」と「ICT教育」だと思う。昨年度整備された新しいICT機器の状況も拝見させていただきたい。

提言9 今年度より委員となり、これまで、こんなに多くの地域と連携した取組みをされていることを知らなかった。アンテナを高く、もっと知ろうとしなければいけないと感じた。

提言10 Web講義、オンライン学習やハイブリッド講義などができるようにするための、研修や訓練を実施する必要があるのではと感じた。

提言11 英語のネイティブ教員の配置があるとよい。

提言12 公開授業等における教員間の交流を他校と共有できるとよい。

提言 13 中学校で実施しているような出前授業を、小学校でも実施できるとよいのではないかと。

提言 14 教職員の働き方改革を図るためには、仕事のマニュアル化を進められるとよい。

6 提言を踏まえて

- ・今年度は、このコロナ禍のなかで、地域と連携した取組も計画通りに進めることは難しい状況にある。しかし、可能な限り教育目標の実現に向けて、学習内容、学習環境の充実に向けて取組んでいきたい。

7 次回以降の予定について

2回目は11月上旬ごろに予定。今年度の途中経過の報告をする。

3回目は1月の下旬ごろに予定。今年度の成果報告や次年度への検討事項等を報告する。